

心臓リハビリテーション 専従看護師

第一の転機

学生時代の実習生活指導で患者の退院後の生活を変えられることに充実を感じ、現在の原点がここで完成。

21～23歳

入職

心臓血管外科・ICU・循環器内科混合病棟へ勤務。希望理由は「ERみたいにかっこよさそうだから」という不純な理由…。しかし、混合病棟で勤務したことで一度に濃い心疾患の病態・看護を身につけた。と思っている…。

保田 彰さん

第二の転機

今でも忘れない「心臓リハビリテーション」というのがあつらしく、当院でも始めてみようと思う。担当は…、あいつでいいよ。」とたまたま近くを通りかかった医師より担当に任命されてしまった。



24歳

心臓リハビリテーション開始！！

病棟業務としてスタート。心臓リハビリテーションは、「退院後の日常生活をより良いものにするために何が必要か」を考え・実践するリハビリテーション。運動療法だけではなく、生活を真剣に考えるリハビリテーション。私の原点がここで開花する(自分で言ってしまった…ププツ)。しかし、病棟業務であるため、専門性に欠けていた。



26歳～33歳現在

最強の心臓リハビリテーション指導士を目指して！！

26歳心臓リハビリテーション指導士を取得。専従心臓リハビリテーションスタッフとなる。病棟業務から、専門へ独立！！1人での奮闘が始まる。内科・外科全ての心疾患に精通し、運動療法から日常生活指導まで専門的に行う。新人の頃の混合病棟での経験が活かされる。現在では、業績を認められ、スタッフ3人で奮闘。入院患者リハビリを年間5000件以上経験。日本有数の心臓リハビリテーション室である。また、個人の業務でも心臓リハビリ以外に、夜間救急外来、運動負荷心電図試験の実施・評価、救急教育・指導も行っている。

2000年3月：仙台医療センター附属看護助産学校卒業

2000年4月：入職

2006年：心臓リハビリテーション指導士

2006年5月：ACLS

2008年9月：AHA BLSインストラクター

